

AnyWire DB A20シリーズ
オムロンCJ1/ CJ2シリーズ用マスタ I/F
AFCJ01-D2
ユーザーズマニュアル

1.5版 2021/05/24

全 2 重伝送方式による
高速伝送省配線システム

AnyWire **DB A20** シリーズ

注意事項

本書に対する注意

1. 本書は、最終ユーザーまでお届けいただきますようお願いいたします。
2. 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行ってください。
3. 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合すること
を保証するものではありません。
4. 本書の一部または全部を無断で転載、複製することはお断りします。
5. 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。

警告表示について



「警告」とは取扱いを誤った場合に死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



「注意」とは取扱いを誤った場合に障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全にご使用いただくために



- ◆ AnyWireシステムは安全確保を目的とした制御機能を有するものではありません。
- ◆ 次のような場合には、定格、機能に対して余裕を持った使い方やフェールセーフなどの安全対策について特別のご配慮をしていただくとともに、弊社までご相談くださいますようお願いいたします。
 - (1) 高い安全性が必要とされる用途
 - ・人命や財産に対して大きな影響を与えることが予測される用途
 - ・医療用機器、安全用機器など
 - (2) より高い信頼性が要求されるシステムに使用される場合
 - ・車両制御、燃焼制御機器などへの使用
- ◆ 設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。
- ◆ AnyWireシステムはこのマニュアルに定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。
- ◆ このユニットにおいて、定格以上の電流または短絡などによる過電流が長時間継続して流れた場合発煙、発火の恐れがありますので、外部にヒューズなどの安全回路を設けてください。



注意

- ◆ AnyWireシステム全体の配線や接続が完了しない状態で24V電源をいれないでください。
- ◆ AnyWireシステム機器には24V安定化直流電源を使用してください。
- ◆ AnyWireシステムは高い耐ノイズ性を持っていますが、伝送ラインや入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。
- ◆ ユニット内部やコネクタ部に金属くずなどが入らないよう、特に配線作業時に注意してください。
- ◆ 誤配線は機器に損傷を与えることがあります。また、コネクタや電線がはずれないように、ケーブル長や配置に注意してください。
- ◆ 端子台に撚り線を接続する場合、ハンダ処理をしないでください。接触不良の原因となることがあります。
- ◆ 電源ラインの配線長が長い場合、電圧降下により遠隔のスレーブユニットの電源電圧が不足することがあります。その場合にはローカル電源を接続し規定の電圧を確保してください。
- ◆ 設置場所は下記の場所を避けてください。
 - ・ 直射日光が当たる場所、使用周囲温度が0～+55℃の範囲を超える場所
 - ・ 使用相対湿度が10～90%の範囲を超える場所、温度変化が急激で結露するような場所
 - ・ 腐食性ガスや可燃性ガスのある場所
 - ・ 振動や衝撃が直接伝わるような場所
- ◆ 端子ねじは誤動作などの原因にならないように確実に締め付けてください。
- ◆ 保管は高温・多湿を避けてください。(保存周囲温度－20～+75℃)
- ◆ 安全のための非常停止回路、インターロック回路などはAnyWireシステム以外の外部回路に組み込んでください。

目次

1	概要	1-1
2	仕様	2-1
2.1.	一般仕様	2-1
2.2.	性能仕様	2-1
2.3.	適応CPU	2-2
2.4.	外形寸法図	2-3
2.5.	各部の名称	2-3
2.6.	ユニットの組み立て	2-3
3	動作モードについて	3-1
3.1.	号機No.設定	3-1
3.2.	仕様選択(動作モード設定2スイッチ)	3-1
3.3.	入出力点数設定(動作モード設定1スイッチ)	3-2
4	メモリマップ	4-1
5	監視機能について	5-1
5.1.	アドレス自動認識	5-1
5.2.	監視動作	5-1
6	エラーステータスについて	6-1
6.1.	エラーフラグ	6-1
6.1.1.	エラーステータスのリセット方法	6-2
6.2.	異常アドレス	6-2
7	LED表示について	7-1
8	接続について	8-1
8.1.	ターミネータ	8-2
9	伝送所要時間について	9-1
9.1.	2重照合	9-1
9.2.	最大伝送遅れ時間	9-1
10	トラブルシューティング	10-1
11	保証について	11-1
12	中国版RoHS指令	12-1
13	変更履歴	13-1

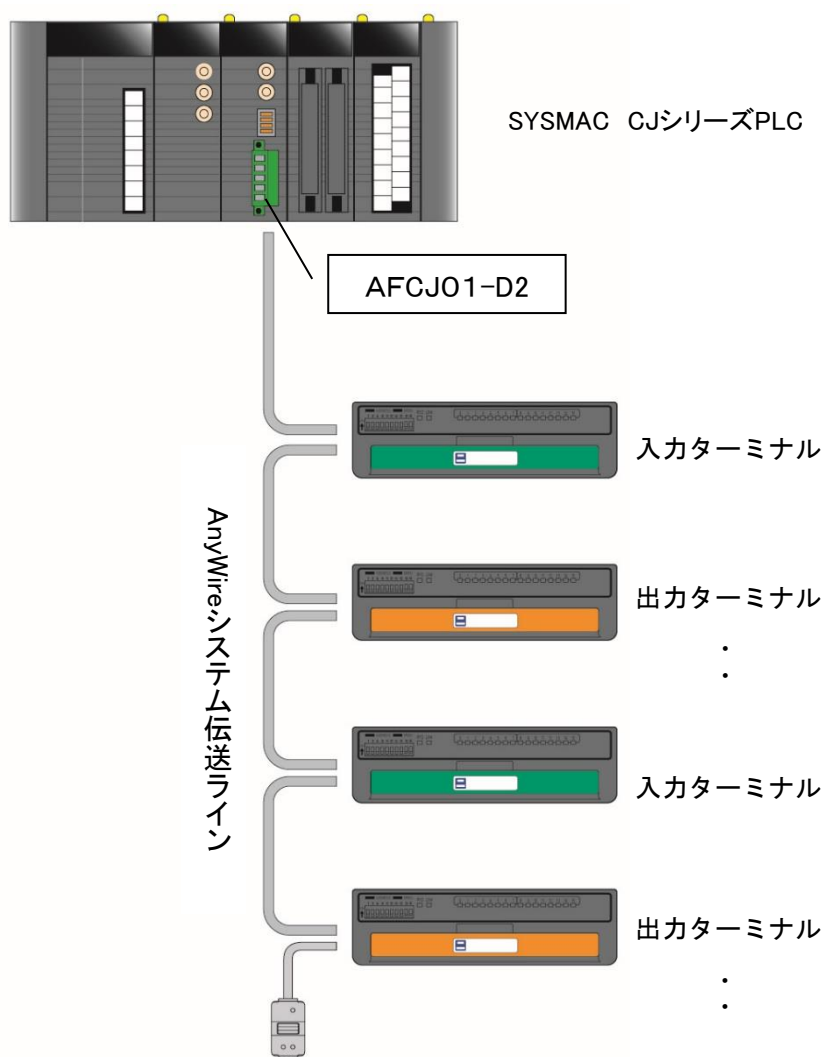
1 概要

このユニットは、オムロンCJ1、CJ2シリーズPLCに装着可能なAnyWire DB A20シリーズ用マスターインターフェースです。

AnyWireシステムは独自の伝送方式により、高速で高い信頼性をもつ省配線システムです。

AnyWire DB A20シリーズは、特に高速、または長距離に対応した全2重伝送システムで、最大入出力各512点、伝送距離は50m、200m、1km、3kmの伝送が可能です。

分岐配線をしても断線検知が可能です。



2 仕様

2.1. 一般仕様

使用周囲温度	0～+55℃
使用周囲湿度 保存周囲湿度	10～90%RH(結露なきこと)
保存周囲温度	－20℃～+75℃
雰囲気	腐食性ガスや可燃性ガスなきこと
耐振動	JIS C 0040に準拠

2.2. 性能仕様

伝 送 ク ロ ッ ク	2kHz	7. 8kHz	31. 3kHz	125kHz
最 大 伝 送 距 離	3km	1km	200m	50m
伝送ケーブル線径	0.9～1.25 mm ²		0.75～1.25 mm ²	
伝 送 方 式	全2重サイクリック方式			
接 続 形 態	バス形式(マルチドロップ方式、T分岐方式、ツリー分岐方式)			
伝 送 プ ロ ト コ ル	AnyWire DB A20 プロトコル			
誤 り 制 御	2重照合方式			
接 続 I O 点 数	最大1024点(入力512点/出力512点)			
接 続 ノ ー ド 数	最大128ノード(ファンイン＝1)			
R A S 機 能	伝送線断線位置検知機能、伝送線短絡検知機能、伝送電源低下検知機能			
接 続 ケ ー ブ ル	汎用2線ケーブル／4線ケーブル(VCTF 0.75～1.25mm ² 定格温度60℃) 専用フラットケーブル(0.75mm ² 定格温度70℃) 汎用電線(0.75～1.25mm ² 定格温度60℃) (伝送距離1kmを越える場合はVCTF 1.25mm ² 以上)			
電 源	回路:(PLC側から供給) 電圧 +5[V]±5% 電流 0. 4[A] 伝送ライン: 電圧 DC24V +15～－10%(DC21. 6～27. 6V)リップル0. 5Vp-p以下 電流 0. 2[A](ターミナル128台接続時、負荷電流は含まず)			

■最大サイクルタイム

(単位:ms)

動作モード設定1 伝送クロック	1 512点(256点×2)	0 1024点(512点×2)
2kHz	138.4max.	265.4max.
7.8kHz	35.8max.	68.5max.
31.3kHz	9.0max.	17.2max.
125kHz	2.3max.	4.3max.

注意:①伝送サイクルタイムは1サイクルタイムから2サイクルタイム間の値となります。
②入力信号を確実に応答させるためには、2サイクルタイムより長い入力信号を与えてください。

2. 3. 適応CPU

本機は高機能IOユニットに相当します。
装着可能CPUは下記の通りです。

CJ1H-CPU6□H-R

CJ1H-CPU6□H

CJ1G-CPU4□H

CJ1M-CPU1□

CJ1M-CPU1□-ETN

CJ1M-CPU2□

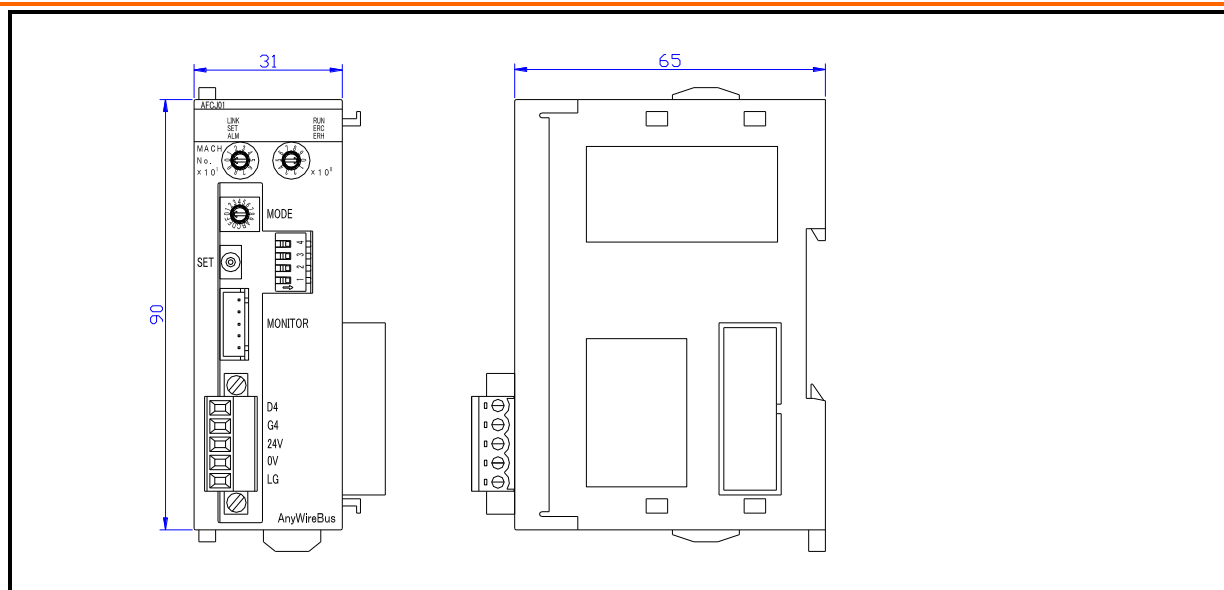
CJ2M-CPU3□

CJ2M-CPU1□

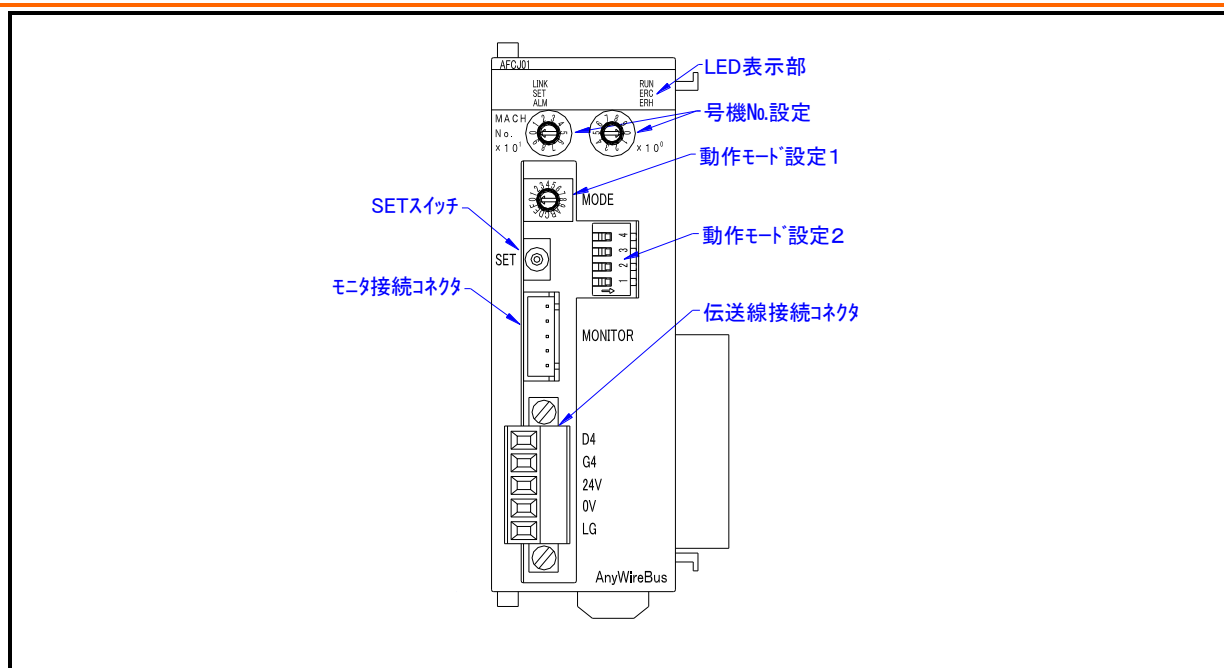
CJ2H-CPU6□-EIP

CJ2H-CPU6□

2.4. 外形寸法図



2.5. 各部の名称



2.6. ユニットの組み立て

ユニット同士を接続後、上下のスライダをカチッと音がするまでスライドさせて確実にロックしてください。ロックしないと機能が満足できないことがありますので注意してください。

CPUユニットに付属されているエンドカバーは必ず最右端のユニットに取り付けてください。エンドカバーを取り付けないとCJシリーズは正常に動作しません。

3 動作モードについて

3.1. 号機No.設定

本機の2つのロータリーディップスイッチにより号機No.の設定をします。

本機は、1ユニットで4号機占有となりますので、0から92までの範囲で設定してください。

例えば04に設定した場合、04から07までを占有しますので、他のユニットはこの範囲に設定しないでください。

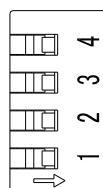
3.2. 仕様選択（動作モード設定2スイッチ）

動作モード設定2スイッチ（4連ディップスイッチ）で伝送距離などの選択をします。

SW-1、2 1と2のON/OFFの組合せにより伝送距離を設定します。

SW-3 Bitモード動作の設定スイッチです。OFFでご使用ください。

SW-4 システム予約（OFFでご使用ください）



右側でON

* 出荷時のスイッチ位置は
全て OFF 側になっています。

仕様	動作モード2スイッチ	
	1	2
2kHz 3km	OFF	OFF
7.8kHz 1km	OFF	ON
31.3kHz 200m	ON	OFF
125kHz 50m	ON	ON

動作モード2スイッチ	動作モード	仕様
3		
OFF	Bitモード	データの二重照合をビット（1点）毎に行います。 スレーブはBitタイプをご使用ください。
ご使用時は、OFFにしておいてください。		

3.3. 入出力点数設定（動作モード設定 1 スイッチ）

動作モード設定1スイッチ(ロータリーディップスイッチ)により入出力点数を選択します。

動作モード		動作モード1スイッチ
入力	出力	
512点	512点	0
256点	256点	1
512点	512点	2～F



注意

- DIPスイッチの設定は必ず電源を切ってから行ってください。
- DIPスイッチの設定は、ご使用になる伝送仕様に合わせて必ず行ってください。
- 本機と接続されているスレーブユニットの伝送仕様と一致していないと正常に伝送できなかったり、誤動作の原因となります。

4 メモリマップ

オフセットアドレス	内容
0～31	出力 (32ch)
32～63	システム予約 (32ch 使わないでください)
64	エラーリセット出力 (1ワード)
65～67	システム予約 (3ch 使わないでください)
200～231	入力 (32ch)
232～263	システム予約 (32ch 使わないでください)
264	エラーフラグ入力 (1ch)
265	アドレス応答異常スレーブユニット数入力 (1ch)
266～281	エラーアドレス (16ch)
282～283	システム予約 (2ch 使わないでください)

(システム予約エリアは使わないでください。)

データは号機No.で決定されるDM20000ch以降のエリアに割り付けられます。

先頭ch番号は

$$\text{先頭ch番号} = 20000 + \text{オフセットアドレス} + \text{号機No.} \times 100$$

で求められます。

<例> 号機No.が「4」の場合

出力の先頭ch番号は20000+0+4×100でDM20400chからとなります。

入力先頭ch番号は20000+200+4×100でDM20600chからとなります。

AnyWireBus上でのワードアドレス番号とデータメモリの対応は次のようになります。

	オフセット アドレス	① ch番号	ビット No.															
			15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
出力	0	DM20400	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	1	DM20401	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
	⋮	⋮	⋮															
	31	DM20431	511	510	509	508	507	506	505	504	503	502	501	500	499	498	497	496
入力	200	DM20600	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
	201	DM20601	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
	⋮	⋮	⋮															
	231	DM20631	511	510	509	508	507	506	505	504	503	502	501	500	499	498	497	496

<注> 表中の①の列は号機No.を「4」に設定した場合の例を示します。

表中の1から511までの数字がAnyWireBus上でのアドレス番号を表しています。

メモリマップ

DMエリアはビット扱いができないため、内部補助リレーに移し替えることによりビット扱いができるようになります。移し替えにはブロック転送命令XFERを使います。

入力データの移し替え用参考プログラム



出力データの移し替え用参考プログラム



ここで使用している内部補助リレーの番号は参考例です。

プログラムの他の部分で使われていない適当な番号を指定してください。

この例の場合は入力が1200.00～1231.15に、出力は1300.00～1331.15に割付けられます。

ご注意

この他に本機では号機No.で決定される2000ch以降の40ch分のエリアを占有します。

このエリアは使用しないでください。

先頭ch番号は

$$\text{先頭ch番号} = 2000 + \text{オフセットアドレス} + \text{号機No.} \times 10$$

で求められます。

<例> 号機No.が「4」の場合

先頭ch番号は $2000 + 0 + 4 \times 10$ で2040chとなります。

2040chから2079chは本機で占有されます。

5 監視機能について

概要

AnyWireシステムのスレーブユニットは固有のアドレスを持ち本機から送られたアドレスに対し、そのアドレスをもつスレーブユニットが応答を返すことにより断線検知とスレーブユニットの存在確認をしています。

本機はアドレス自動認識操作(後述)によりその時接続されているスレーブユニットのアドレスをEEPROMに記憶します。この情報は電源を切っても記憶されています。

次に登録されたアドレスを順次送り出し、それに対する応答が無ければ断線として「ALM」LEDにより表示し、エラーフラグを返します。また異常のあったスレーブユニットのアドレスを知ることができます。

5.1. アドレス自動認識

接続されているスレーブユニットのアドレスを本機のEEPROMに記憶させることを「アドレス自動認識」と呼びます。

【手順】

- 1 スレーブユニットが全て正常に動作していることを確認してください。
- 2 「SET」スイッチを「SET」LED(緑色)が点灯するまで押してください。
- 3 「SET」LEDがしばらく点灯して消えればアドレスの記憶が完了しています。

【アドレス自動認識操作のタイミング】

- ・マスタに全てのターミナルが接続され運用を開始する時
- ・ターミナルを増設した時
- ・ターミナルを削除した時
- ・ターミナルのアドレスを変更した時



注意

- 短絡などAnyWire伝送ラインの異常時や電源投入後、またはリセットしてから約5秒間はアドレス自動認識操作はできません。
- 運用中に断線エラーが発生した時は、アドレス自動認識操作を行わないでください。断線情報が失われます。

5.2. 監視動作

本機に登録されたアドレスを順次送り出しそれに対する応答が無ければ断線として「ALM」LEDにより表示します。

またエラーフラグのBit 3を“1”にします。

この異常情報は電源を切るかエラーリセットするまで保持しています。(エラーステータスについての項を参照してください)。

6 エラーステータスについて

本機のエラーステータスにより伝送ラインの状態を知ることができます。

エラーステータスはエラーフラグと断線が検知されたアドレスの数、その異常アドレス16個からなります。断線によるエラーが発生した場合、アドレスの数の情報と異常アドレスの情報から該当するスレーブユニットを知ることができます。

異常アドレスが16個以上ある場合、番号の若い順に16個表示されます。

エラー情報とデータメモリの対応は次のようになります。

オフセットアドレス	②ch番号	内容
264	DM20664	エラーフラグ
265	DM20665	異常アドレスの数
266	DM20666	異常アドレス1
267	DM20667	異常アドレス2
268	DM20668	異常アドレス3
⋮	⋮	⋮
280	DM20680	異常アドレス15
281	DM20681	異常アドレス16

＜注＞表中の②の列は号機No.を「4」に設定した場合の例を示します。

6.1. エラーフラグ

オフセットアドレスを264とすることによりエラーフラグを読み込むことができます。

また、オフセットアドレスを265とすることにより異常アドレスの数を読み込むことができます。

この状態は「ALM」LEDによっても表示されます。

エラーが発生した場合対応するビットが”1”になります。

Bit 3は電源を切るかエラーリセット(後述)まで保持されています。

Bit 0と1と2はエラー状態が解除されると”0”になります。保持はしません。

Bit 0	D－G間の短絡
Bit 1	D－P間の短絡
Bit 2	24Vが供給されていない、または電圧が低い。
Bit 3	断線している。またはスレーブユニットの故障か電源が供給されていない。
Bit 4～15	予備

6.1.1. エラーステータスのリセット方法

オフセットアドレス64のデータメモリエリアに“1”を書き込んでください。

断線などの異常が解消していれば断線フラグが“0”、異常アドレスの数も“0”にリセットされます。異常状態が解消されていなければ再び異常フラグと異常アドレスの数、異常アドレスがセットされます。

電源再投入によってもクリアされます。

オフセットアドレス	②ch番号	内容
64	DM20464	エラーリセット出力

＜注＞表中の②の列は号機No.を「4」に設定した場合の例を示します。

6.2. 異常アドレス

断線やスレーブユニットの異常が起こったとき、異常なアドレスが16個までオフセットアドレス266～281に書き込まれます。(4 メモリマップ 参照)

書き込まれる値は次表に従い分類されています。

16進表示アドレス	内容
000～1FF	出力スレーブユニットのアドレス
200～3FF	入力スレーブユニットのアドレス

下位2桁がそのスレーブユニットに設定されているアドレスを示します。

最上位の桁はスレーブユニットの種別を示します。

この値は、エラーリセットか電源OFFまで保持されます。

7 LED表示について

本ユニットの状態を示す表示

表示	名称	色	意味	
RUN	運転中	緑	点灯	本ユニットは動作状態です
			消灯	本ユニットは停止状態です
ERC	ユニット異常	赤	点灯	本ユニットに異常があります
			消灯	本ユニットは正常です
ERH	CPU本体異常	赤	点灯	CPU本体に起因する異常です
			消灯	CPU本体は正常です

ERC LED、ERH LEDの主な点灯原因

ERC LEDの点灯原因	本機が高機能I/Oユニットと認識されていない
	ハードウェアチェック異常
ERH LEDの点灯原因	号機No.の設定が00～92の範囲にない
	号機No.の二重設定
	I/Oテーブルに登録されたユニットがない
	I/Oバス異常
	CPUウォッチドッグタイマー異常

AnyWireBusの状態を示す表示

表示	名称	色	意味	
LINK	伝送表示	緑	点滅	本ユニットは動作状態です。
			消灯	本ユニットに異常があります。
SET	アドレス認識動作中表示	緑	点灯	アドレス自動認識動作中です。
			消灯	通常伝送中です。
			点滅	EEPROM書き込み中
ALM	アラーム表示	赤	点灯	AnyWireBus D、Gの断線。
			遅い点滅 *1	D－G間短絡、またはD－24V間短絡。
			速い点滅 *2	24Vが供給されていない、または電圧が低い。
			消灯	正常伝送中です。

*1 : 「遅い点滅」は約1秒周期の点滅です。

*2 : 「速い点滅」は約0.2秒周期の点滅です。

プロフィール書替えモード時はERCとERHは次のように表示します。

表示	名称	色	意味	
ERC	ユニット異常	赤	点灯	正常終了
			点滅	異常終了
ERH	CPU本体異常	赤	点灯	プロフィール書替えモード表示

8 接続について

ケーブルは2芯、または4芯のVCTF、VCT(定格温度60℃)のケーブル、もしくは専用フラットケーブル(FK4-075-100: 定格温度70℃)をご使用ください。

線径は、2-1頁をご覧ください。

なお電源線は、電圧降下を考慮した電線径のものを接続してください。

本機AnyWireBus接続端子は、脱着の容易なコネクタ端子になっています。

型式 : MC1.5/5-STF-3.81(フエニックス・コンタクト株式会社製)

接続可能電線 : 0.14~1.5mm²(AWG28~16)

締め付けトルク : 0.22~0.25N・m

D	伝送線です。
G	伝送線です
24V	DC24Vの安定化電源を接続してください
0V	負荷とスレーブユニットに必要な電流+0.2A以上の容量のもの
LG	ノイズフィルタの中性点に接続されています。 24V系の電源ノイズによる誤動作がある場合に接地します。 その場合はPLCの機能接地端子と1点接地としてください。

D、GはそれぞれスレーブユニットユニットのD、Gと接続してください。

(各ユニットの取扱説明書を参照ください。)



注意

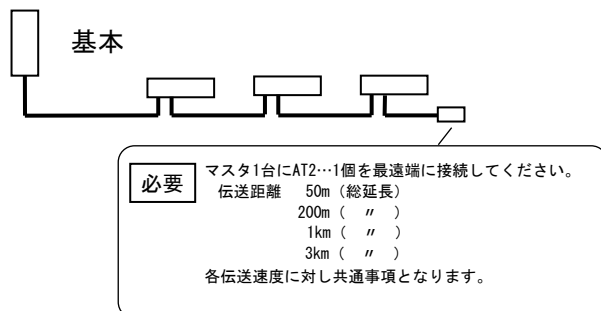
MONITORコネクタ

メンテナンス用モニタを接続するためのコネクタです。
なにも接続しないでください。

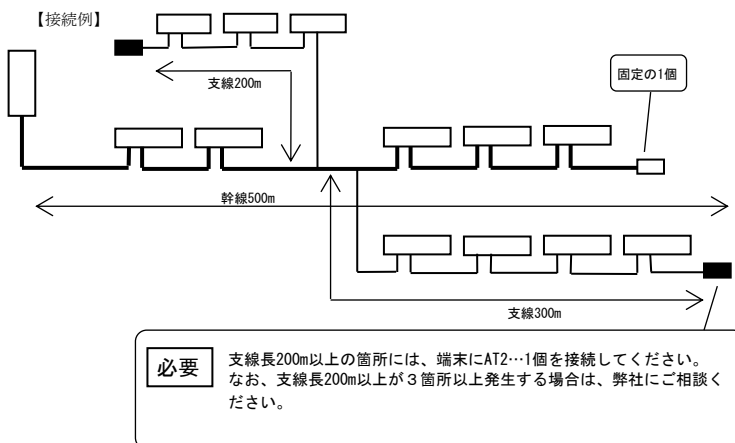
8.1. ターミネータ

より安定的な伝送品質を確保するため、伝送ライン端にターミネータ (AT2) を接続します。
このターミネータは波形を安定させるモジュールで、極性があります。
正しく接続してください。

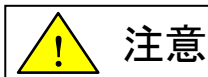
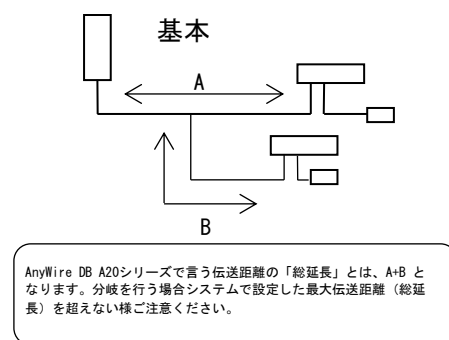
■ターミネータの接続



■伝送ラインの分岐 (伝送距離1km仕様) について

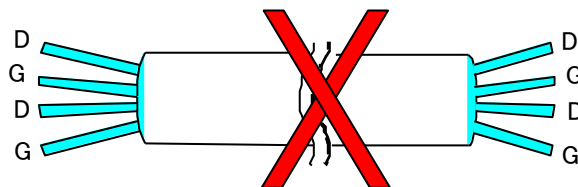


■総延長について



注意

- 多芯ケーブルで複数の伝送線 (D、G) をまとめて送らないで下さい。
 まとめて送るとクロストークにより機器が誤動作します。



- 伝送ケーブルは、線径0.75～1.25mm²としてください。
- 電源電圧の下限は21.6Vまでですが、マスタでは24Vを下回らないようにしてください。
- ケーブルによる電圧降下にご注意下さい。電圧降下により機器が誤動作します。
 電圧降下が大きい場合はターミナル側で電源を供給して下さい。(ローカル電源)
- コネクタ端子に接続する線は半田あげしないで下さい。線がゆるみ接触不良の原因となります。

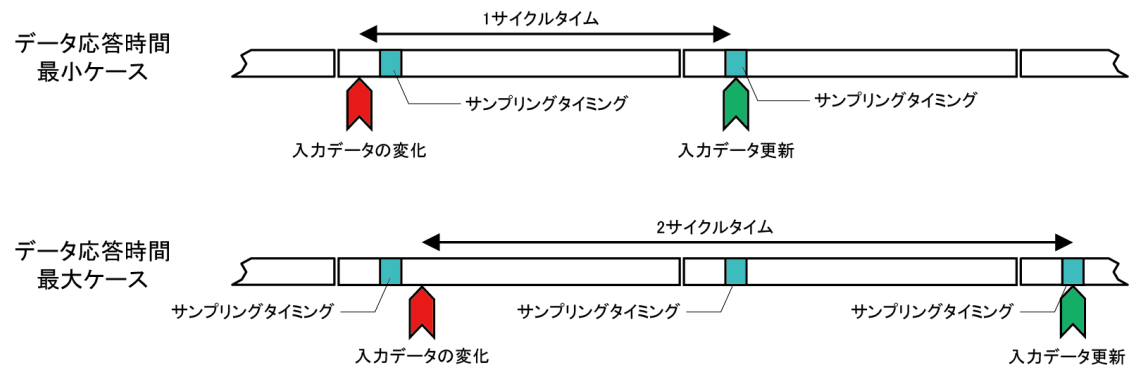
9 伝送所要時間について

9.1. 2重照合

本機は、連続して2回同じデータが続かないと入力エリアのデータを更新しないため(2重照合)、データ更新には最小で1サイクルタイム、最大で2サイクルタイムの伝送時間を必要とします。

[入力信号の場合]

2サイクルタイムよりも短い信号はタイミングによって捉えられない場合がありますので、**入力を確実に応答させるためには、2サイクルタイムよりも長い信号を与えてください。**



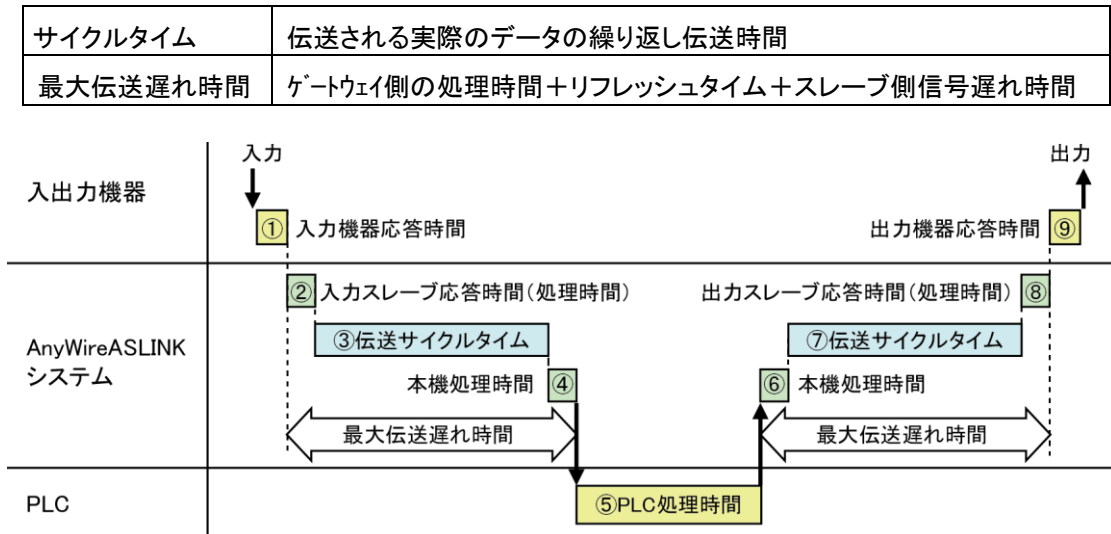
[出力信号の場合]

出力スレーブユニットの内部でもデータの2重照合を行っていますので、コントローラ側からの出力を受け取り、それを反映するまでには1サイクルタイム～2サイクルタイムの伝送遅れ時間を必要とします。よって、コントローラ側からの出力信号は2サイクルタイム以上の時間保持してください。

9.2. 最大伝送遅れ時間

スレーブユニット側で二重照合を行っていますので入力の場合と同様に最小1サイクルタイム、最大2サイクルタイムの伝送時間を必要とします。

応答遅れ時間は下図のようになります。



10 トラブルシューティング

まず次のことを確認してください。

- (1) すべての機器の「RDY」ランプが点灯していること。
- (2) すべての機器の「LINK」ランプが点滅していること。
- (3) 各機器の電源電圧が21.6～27.6Vの範囲にあること。
- (4) 配線、接続が確実であること。
- (5) アドレス設定が正確であること、重複していないこと。

症状別チェックリスト

症状	チェック項目
データの入出力ができない	AFCJ01-D2側 MODEスイッチが正しく設定されているか MODEスイッチで設定したI/O構成とソフトウェアで指定しているI/O番号が一致しているか
	スレーブユニット側 スレーブユニットに電源が供給されているか スレーブユニットのアドレスは正しく設定されているか スレーブユニットはAFCJ01-D2の仕様(伝送クロックや入出力点数など)と同じ仕様のものを使用しているか
ALM LED(赤)が点灯	D、Gラインが断線していないか アドレス自動認識操作を正しくおこなったか 端子台のビスがゆるんでいないか
ALM LED(赤)がゆっくり点滅	D、Gラインが短絡していないか Dと24Vが接触していないか
ALM LED(赤)が速く点滅	AFCJ01-D2に供給しているDC24V電源の電圧が正常か
ERC LEDが点灯	隣のユニットとの接続はキチンとされているか
ERH LEDが点灯	号機No.の設定は0～92の範囲か 他のユニットと同じ号機No.が設定されていないか I/Oテーブルの設定を行ったか
CPUのERR/ALM LEDが点灯	CPUに付属のエンドカバーを一番右端のユニットに取り付けたか

11 保証について

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

(1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合

(2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合

(3) 納入者以外の改造、または修理による場合

(4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。

また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更

本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

12 中国版RoHS指令

电子信息产品上所示标记是依据SJ/T11364-2006规定，按照电子信息产品污染控制标识要求制定。
本产品的环保使用期限为10年。如果遵守产品说明书中的操作条件使用电子信息产品，不会发生因产品中的有害物质泄漏或突发异变而引发严重的环境污染，人身事故，或损坏财产等情况。

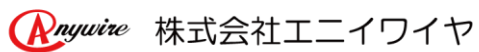
部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 [Cr(VI)]	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
安装基板	x	○	○	○	○	○
框架	○	○	○	○	○	○
本表格依据SJ/T11364的规定编制。 ○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。 x：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。						



基于中国标准法的参考规格：GB/T15969.2

13 変更履歴

バージョン	日 付	変更内容
1.0	2005/01/06	正式版
1.1	2012/03/07	ケーブル定格温度追記、連絡先変更
1.2	2013/08/22	連絡先変更
1.3	2018/09/14	新連絡先
1.4	2019/08/27	9. 伝送所要時間について 保証について、中国版RoHS指令内容追加
1.5	2021/05/24	CJ2を追加した表記に修正、サポートダイヤル受付時間更新、その他 表現の統一



本 社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所 1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所
<http://www.anywire.jp/>

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

075-952-8077

■ メールでのお問い合わせ info@anywire.jp